

SDGsの社会実装と「適合性評価」

Chapter 3

SDGsの社会実装に重要な役割を担う「適合性評価」について、3回にわたって紹介するシリーズ。

適合性評価とは、製品やプロセス、サービスなどが特定の基準を満たしているか評価することだ。

最終回となる今回は、さまざまな検査や試験を行う機関などの「適合性評価」についてお伝えする。

広告

国際標準化と適合性評価

経済協力開発機構（OECD）の推定によれば、国際標準化と適合性評価が世界の商品取引の80％に影響を与えていることが示されている。質の高い国際標準と適合性評価は、国際連合工業開発機関（UNIDO）が定義する「クオリティ・イン・フラストラクチャー」、すなわち製品やサービスの品質、安全性、環境への健全性を支えるために必要な政策、法規制、慣行、及び組織で構成されるフレームワークの欠かせない構成要素となっている。適合性評価はすべての人々の尊厳ある生活を確保し、包括的な経済成長と繁栄を達成するために不可欠な持続可能な開発目標（SDGs）を実現するための重要な役割を担っているのである。

SDGsと適合性評価

SDGsは、気候変動、貧困、その他の地球規模の課題に取り組むことを目的とした17の野心的な目標のセットであり、適合性評価は、これらの目標に取り組む企業、団体、個人の活動を支えている。

適合性評価（Conformity Assessment）とは、製品、プロセス、システム、人、組織などがある特定の基準を満たしているかどうかを評価すること。1995年のWTO／TBT協定締結、1996年の政府調達協定により、国際標準化機構（ISO）が策定する国際規格などによる適合性評価が各国の規制にも引用され、制度化している。適合性評価制度は、貿易のみならず品質、環境・安全などさまざまな分野でSDGsを支える制度の一つとなっている。

試験所・校正機関の認定とは

試験所は、特定の試験（電気試験、機械・物理試験、化学試験、食品試験等）を定められた手順に従って実施し、その結果（一般的

には数値）を報告書等として発行する。校正とは、標準器を用いて測定機器が表示する値と真の値の関係を求めることであり、校正機関は標準に基づき、電磁気量、幾何学量、力学量、熱力学量等の測定機器の信頼性を確保する役割を果たす。例えば、日本がメートル条約に加入して以降、1メートルの校正には「日本国メートル原器」（重要文化財、産業技術総合研究所に保管が長らく使われた。定期的な校正の実施は、計量トレーサビリティの確保の上で重要である。



食品試験

試験所認定とは、認定機関がISO／IEC 17025に基づいて試験所を審査し、試験所が対象となる試験を適切に実施できるかどうかを評価し、その結果により認定の判断を行うこと。第三者である認定機関が客観的な審査を行うことで、認定を受けた試験所校正機関は、試験や校正の能力の信頼を得ることができる。また顧客にとっては、顧客のニーズを満たす試験及び校正業務を行うことのできる試験所・校正機関を識別し、選定するための簡便な手段となりうるのである。

臨床検査室の認定とは

臨床検査には、血液学的検査、生化学的検査、免疫学的検査、微生物学的検査、病理学的検査などがあり、これらの検査を行うのが臨床検査室である。



臨床検査室

受け、認定を取得している臨床検査室は、臨床検査を行う能力だけでなく、品質マネジメントシステムの実装も確認されている。その結果、健康診断や診断、治療方針の決定等、医療機関の能力向上にも寄与できる。

検査機関の認定とは

検査とは、要求されている事項に対して、製品やサービスなどが適合しているかを評価すること。検査の対象は、産業機械から化学製品自動車など、幅広いに富んでいる。検査の特徴として、必ず何らかの判定基準に基づき、その基準に対する適否の判定を行うことが挙げられる。また、個々の製品または生産ロットの適合性を表明できる、という特徴もある。



検査機関

標準物質生産者の認定とは

標準物質とは、成分量が明確な物質（気体、液体、固体）で、化学計測で測定値の決定や分析機器の校正等で「基準となる物質」として使用する。ある物質の濃度を知りたい場合、濃度が明らかな標準物質と値を比較することにより試料中の目的成分の濃度を測定するため、標準物質は重要な役割を担っている。一例として、血液の成分分析用の標準物質や、金属中のガス濃度分析用の標準物質がある。

標準物質生産者とは、測定を行うときに基準となる物質（標準物質）を供給する機関のことをいう。適切な品質の標準物質を供給で

きる技術能力のある標準物質生産者が生産した標準物質の使用により、試験の信頼を高めることが期待できる。また、供給される標準物質はトレーサビリティの証拠として認められている。



標準物質

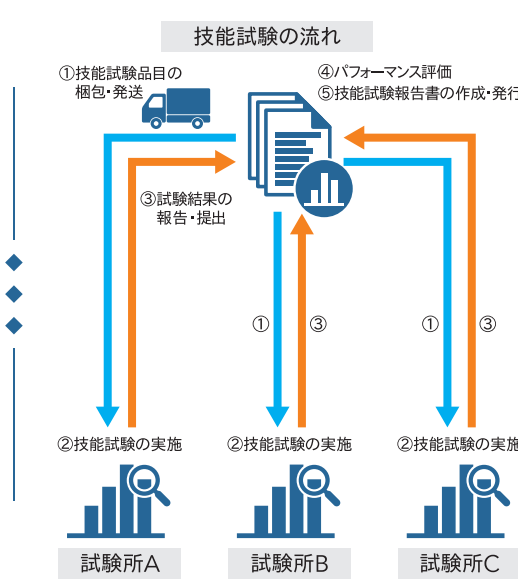
ISO 17034に基づく標準物質生産者の認定は、特定の種類の標準物質を生産する、標準物質生産者の技術能力を証明する手段の一つである。

技能試験提供者の認定とは

試験所や校正機関が継続的に能力評価する方法の一つに、「技能試験」がある。技能試験とは、例えば参加する複数の試験所が特定の試料を計測し、その計測結果の統計解析から能力を評価するものである。

技能試験提供者とは、技能試験を提供する機関をいう。技能試験への参加は、試験所校正機関（ISO／IEC 17025）または臨床検査室（ISO 15189）の認定における要件になっているだけでなく、試験所等が自らの能力を確認する手段としても重要である。技能試験提供者の認定を取得することによって、試験所・校正機関または臨床検査室が技能試験に参加する上で、優先順位を上げる効果を期待できる。

ISO／IEC 17043に基づいて技能試験提供者の評価を行い、認定を与えるのが技能試験提供者の認定である。



3回にわたって、SDGsの社会実装と適合性評価の関りについて紹介してきた。サステナビリティへの取り組みを強化するなかで、適合性評価を活用しようと考えている企業や組織は、今後ますます増えてくるだろう。その際には、JABを始めとする日本の認定機関が認定した適合性評価機関が提供する適合性評価を活用することを、強くお勧めしたい。

※掲載の写真はイメージです。

JABの認定は、世界に認められた信頼の証です。

製品・プロセス・サービスが、ISOなどの国際規格に適合しているか。それを評価する第三者機関（適合性評価機関）を認定するのが、私たちJABの仕事。世界に通用する能力を認定することで、SDGsの浸透を促し、持続可能な社会の実現に貢献します。

検査機関 ISO/IEC 17020	製品設計、製品、プロセスなどが決められた基準に合っているかを専門的に判断する適合性評価機関	●ビューローベリタスジャパン(株) 国際貿易検査事業本部 ●セーフティプラス(株) ●ビューローベリタスジャパン(株) 産業事業本部 ●(株)インフォ・クリエイツ 検査部及びクラウド部 ●(一社)日本海事検定協会 検査第一サービスセンター ●EAA(株) 本社 ●日本検査(株) 検査事業部 新検査システム部 ●インターテック・インダストリー・サービス・ジャパン(株) 検査・進捗サービス部 ●愛知ダイハツ(株) 豊田前田店
標準物質生産者 ISO 17034	測定を行うときに基準となる標準物質をつくる適合性評価機関	●富士フイルム和光純薬(株) 三重工場 ●(公社)日本臨床検査標準協議会 ●シスメックス(株) 小野工場 表示値測定検査室 ●(株)堀場テクノサービス 分析技術本部
技能試験提供者 ISO/IEC 17043	決められた基準に照らして試験所のパフォーマンスを比較評価する適合性評価機関	●(株)KANSOテクノス 計測分析所 ●全国生コンクリート工業組合連合会 中央技術研究所 ●KMTLエッジテック(株) 技能試験推進部 ●(一財)食品薬品安全センター 秦野研究所 ●(一社)KEC関西電子工業振興センター 試験事業部 ●いであ(株) 環境創造研究所 品質管理部 ●(一財)日本品質保証機構 計量計測部門 ソリューションサービス課

※2023年1月末時点で本協会が認定を授与している適合性評価機関のうち、新聞広告掲載に同意いただいた認定先を掲載しております。最新の認定先機関一覧は、本協会ウェブサイトで公開しております。



公益財団法人
日本適合性認定協会
Japan Accreditation Board